



魚津市役所

新庁舎整備だより

『第8号』



令和6年（2024年）10月 魚津市

第9回魚津市新庁舎整備検討委員会を開催しました！

今回の検討委員会では、『関係機関・民間施設との複合化』『新庁舎の防災拠点機能』『新庁舎の建築計画』の3つの議題について協議を行いました。（詳細は市HPで公開している会議資料や議事録をご確認ください。）



R6.10.9 検討委員会の様子

関係機関・民間機能との複合化

関係機関との複合化は事業規模の拡大（＝事業費の増）につながるため、『市民の利便性の向上や職員の業務効率化のために必要不可欠かどうか』という視点からその必要性を検討しました。また、国や県の機関との複合化についても同様に検討しましたが、いずれも複合化に際して課題があることから、現時点では『複合化は難しい』と結論付けました。

民間機能との複合化については、飲食やコンビニ事業者に対して市場調査を行ったところ、一定の条件はあるものの新庁舎への入居の可能性があることを確認できました。今後も引き続き導入を目指して、設計段階において詳細に条件を整理することとしました。

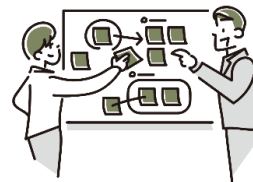


庁内での検討の様子

庁内WG及び庁内検討会議において、各機関と関係のある課から意見を持ち寄り、複合化について協議を行っています。

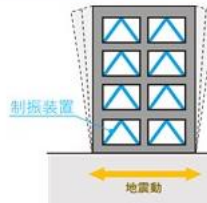
検討委員からの主な意見

- ・民間施設との複合化については、市の財政支援が極力発生しないようにするべき。
- ・こども食堂や高齢者向けの食堂を整備すれば、採算が取れなくてもメリットはある。
- ・手続きに來なくても良いコンパクトな庁舎を目指すべきであり、民間施設は公園整備の中で検討すると良いのではないかな。



新庁舎の防災拠点機能

構造型式のイメージ図

形式	耐震構造	制振構造	免震構造
イメージ			
特徴	建物の柱や梁、壁の強度を上げて、地震の揺れに耐える	制振装置で地震エネルギーを吸収し、地震の揺れを小さくする	建物と基礎の間に免震装置を設置し、地震の揺れを建物に直接伝えない

市庁舎は、大規模地震発生時に地域防災拠点としての機能を十分に発揮できるように、耐震安全性を確保する必要があります。市内には魚津断層帯があることから、今後最大震度6以上の大地震が発生した場合でも迅速かつ継続的に災害に対応できるよう、**免震構造**を採用することとしました。あわせて、浸水害や液状化等にも対応した災害に強い施設を目指すこと、速やかに災害対応できる機能を備えておくことも決定しました。

検討委員からの主な意見

- ・市民に向けて迅速な情報発信を行える最新の機能整備が必要である。
- ・屋上にはこだわらず、駐車場などでヘリコプターの発着場所を確保して欲しい。
- ・免震を採用し、災害が起きても修理の必要がない建物とした方が良い。後から免震構造を追加するのは費用的にも困難である。



新庁舎の建築計画について

延床面積の見直し

第8回検討委員会にて試算した新庁舎の延床面積について、子育て支援センターの事業スペースを加え、**約6,500㎡から約6,700㎡に見直しを行いました**。下表にて面積の内訳を機能別に集計いたしましたが、あくまで現時点での目安であり、具体的な数値は設計段階で決定いたします。

●新庁舎の機能別延床面積		本庁舎、第1・2分庁舎、健康センター子育てスペースの合計			(単位: ㎡)
機 能		既存面積 ①	計画面積 ②	②-①	備 考
事務室	執務スペース、窓口対応スペース 等	2,659	1,980	▲679	国交省基準を参考に、テレワークによる庁外業務の増を見越して、計画面積を削減
会議室	会議室、打合せスペース、WEB会議用ブース	704	500	▲204	目的や規模に応じて使い分けができる様々な会議室を設置
相談室		56	48	▲8	3室→4室へ増室(相談者のプライバシーに配慮)
書庫・物品庫		539	289	▲250	第2分庁舎を活用し、計画面積を削減
議会関係諸室	議場、委員会室、議会控室、正副議長室、図書室 等	928	790	▲138	総務省基準を参考に、計画面積を削減
多目的ホール	期日前投票や市民との協働イベントが実施できるホール	—	200	+200	市役所前公園と一体的に利用できる市民との協働スペースを設置
子育て支援センター	子育てスペース(集団検診にも対応)、検診室	194	154	▲40	一体的なサービス提供ができるスペース等を設置
防災関係	無線室、災害用資機材保管庫、防災備蓄倉庫	88	150	+62	地域防災拠点としての機能を高めるため、資材や備蓄の保管を充実
福利厚生	更衣室、仮眠室・シャワー室、休憩室	322	243	▲79	本庁舎、第1・2分庁舎にそれぞれ設置されている更衣室の集約により、計画面積を削減
その他諸室	宿日直室、記者室 等	119	96	▲23	各室の面積見直しによる計画面積を削減
共用部	廊下、階段、待合スペース、エレベータ、トイレ 等	2,028	2,250	+222	ゆとりある廊下や待合スペースを確保
合 計 (関係機関・倉庫を除く)		7,637	6,700	▲937	

建物配置

具体的な建物配置・形状・デザインは設計段階で検討しますが、市役所前公園との連続性や関連整備費、工事期間などを総合的に判断し、現公園に隣接して配置することとしました。（右図は現時点で考えられる配置の一例です。）

公園との一体的な整備事例

大館市本庁舎（秋田県）※実施設計の外観パース



大館市HPより

建物配置のイメージ



フロア構成の考え方

新庁舎のフロア構成は3階建てを基本とし、新庁舎の導入機能や各業務の関係性も踏まえ、以下の考え方を満たすことを基本設計の募集にあたっての条件とします。詳細については今後の設計段階で決定することとしました。（次のページに、現時点で考えられるフロア構成・ゾーニングの一例を掲載しています。）

- ・ 窓口機能は可能な限り1階に配置する
- ・ 委員会室は会議等にも活用し、災害発生等の緊急時には議場も活用する
- ・ 一体的な利用が可能となるよう、市民が利用できる多目的スペースは市役所前公園側に配置する
- ・ 富山の自然を感じられる屋上展望の設置を検討する
- ・ 1階に浸水対策を講じ、浸水可能性の低い上層階に設備機器を設置する
- ・ 災害対策本部は、市長室や防災危機管理室に近接して配置する

検討委員からの主な意見

- ・ 市の諸課題を背景として組織の見直しを図り、フロア構成などを検討すべき。
- ・ 子育て支援センターを整備するなら公園側の配置を検討すべき。
- ・ 屋上展望の部分は、将来の増築可能性を考慮した基礎や柱の配置にすると良い。



フロア構成のイメージ

※現時点で考えられる一例であり、具体的な構成等は基本設計にて検討します。

モデルプラン1



- ・窓口部門をすべて1階に配置

モデルプラン2



- ・窓口部門をすべて1階に配置
- ・議場及び議会諸室を2階に配置（市民に開かれた議会を目指す）

モデルプラン3



- ・ 窓口部門の一部を2階へ配置することで1階の延床面積を縮小し、来庁者駐車台数を最大限に確保（プラン1から約20台分増）

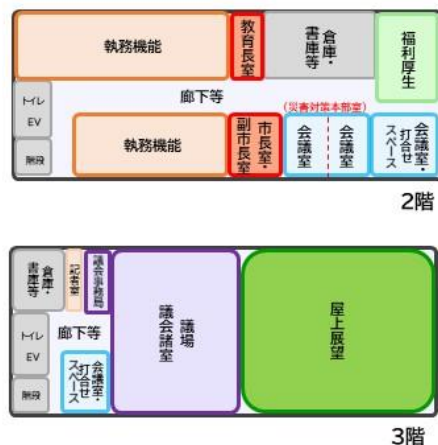
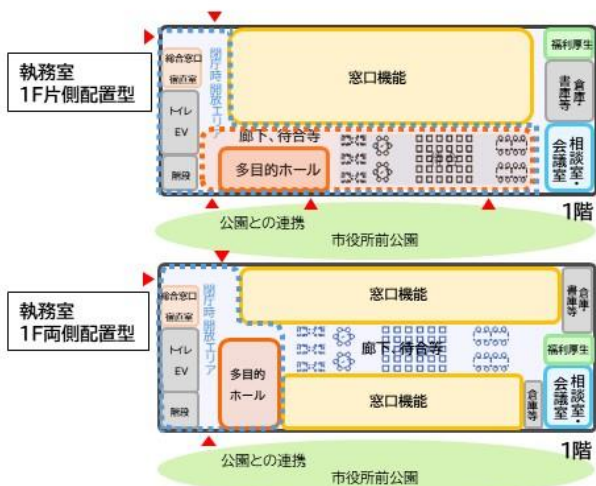
モデルプラン4



- ・窓口部門の一部を2階へ配置することで1階の延床面積を縮小し、来庁者駐車台数を最大限に確保（プラン2から約20台分増）
- ・議場及び議会諸室を2階に配置（市民に開かれた議会を目指す）

ゾーニングのイメージ

※現時点で考えられる一例であり、具体的な構成等は基本設計にて検討します。



上図モデルプラン1を例としたゾーニングイメージ。
1Fは執務室を片側・両側に配置した2つのパターンを作成。



【ご意見・お問い合わせはこちらまで】

〒937-8555

魚津市釈迦堂一丁目10番1号

魚津市役所 総務部 財政課 新庁舎整備室

T E L : 0765-23-1088 (直通)

E-mail : uozu-shinchosha@city.uozu.lg.jp



市HP
新庁舎整備